



## 2018年12月期決算説明会資料

ベルトラ株式会社

(東証マザーズ : 7048)

2019年2月15日



1. 当社概要	P 3
2. 2018年12月期 決算概要	P 8
3. 2019年12月期 業績見通し	P 19

(参考資料) 会社紹介、事業環境、当社の特長



VELTRA

# 1. 当社概要

## 旅先の現地体験ツアーに特化したオンライン予約サービス「ベルトラ」の運営



VELTRA changes TRAVEL

旅先で何をするかで旅を探す



旅行前  
宿泊・航空券

旅行中  
観光・体験・食事・買物など

旅行後  
写真など

150ヶ国1万種類以上の体験ツアーを現地価格で旅行前でも予約可能





## ■ 海外旅行部門を成長基盤とし、インバウンド・グローバルへの販売拡大中

- 海外旅行部門・・・主に日本人の海外旅行向けのサービスを提供
- インバウンド部門・・・訪日旅行者向けのサービスを提供
- グローバル部門・・・B2Bを主体とした英語圏、中華圏、韓国市場向けにサービスを提供

### 海外旅行部門

(2004年～ 当社主力部門)

#### B2C販売システム

当社マーケティング活動による販売

#### B2B販売システム (2017年～)

オフラインの旅行代理店およびOTA向けの販売ソリューション

### インバウンド部門

(2013年～)

### グローバル部門

(2016年～)



## 幅広い地域と商品数だけでなく質の高いサービスを提供

### 顧客への価値提供

量

バリエーション  
豊かな商品

4言語での提供  
(多言語展開)

### 現地催行会社への価値提供

あらゆる商品ラインナップに  
柔軟に対応した商品販売システム

販売数量の増加

×

差別化商品の開発  
運用コストの削減

= 営業収益  
の増加

質

現地価格

オンライン  
サポート

データに基づく  
顧客ニーズに応じた商  
品企画提案

体験談を元にした  
PDCAサイクルによる  
サービスの向上

関わるすべての人達とともに持続的に成長し、  
独自の存在感で観光産業と国際交流をリードする

独自の存在感

幅広い地域と商品バリエーション

→ 数だけでなく質の高いサービスを提供

国際交流

国境を越えた人と人との関わりを重視

→ ツアーガイド、インストラクター

共存共栄

企業連携での協業価値提供

→ 旅行関連企業連携



VELTRA

## 2. 2018年12月期 決算概要



## 前期比増収、大幅増益を達成

営業収益	経常利益	当期純利益
3,371百万円 (19.3%増)	319百万円 (795.1%増)	311百万円 (789.1%増)

## — &lt; 営業収益 &gt; —

## 主力の海外旅行部門が好調に推移

ハワイ島やバリ島の噴火、国内の台風被害や地震などの災害の影響があったものの、個人旅行へのシフト、旅ナカ需要増やオンライン化などを背景に、当社の幅広い商品ラインナップとサポート力で前期比増収に貢献

## — &lt; 経常利益及び当期純利益 &gt; —

## 成長が見込まれるサービスにフォーカスし、組織再編による収益改善を実現

- インバウンド、B2B事業の成長
- 繰延税金資産の計上による法人税等の減少

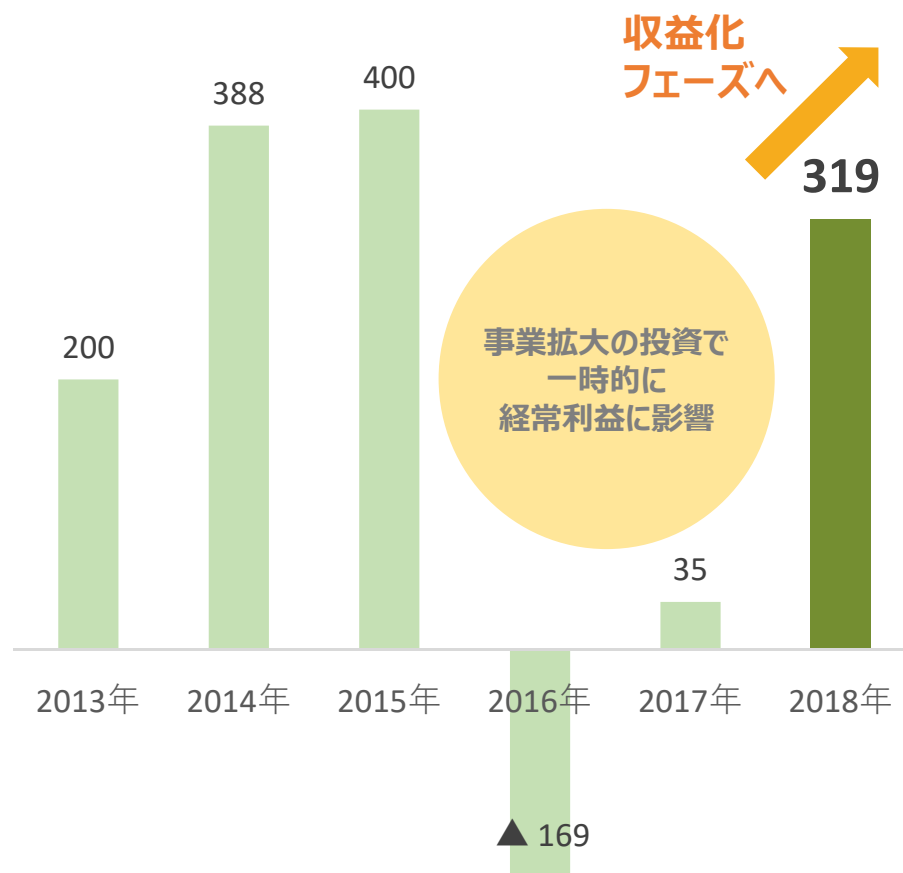
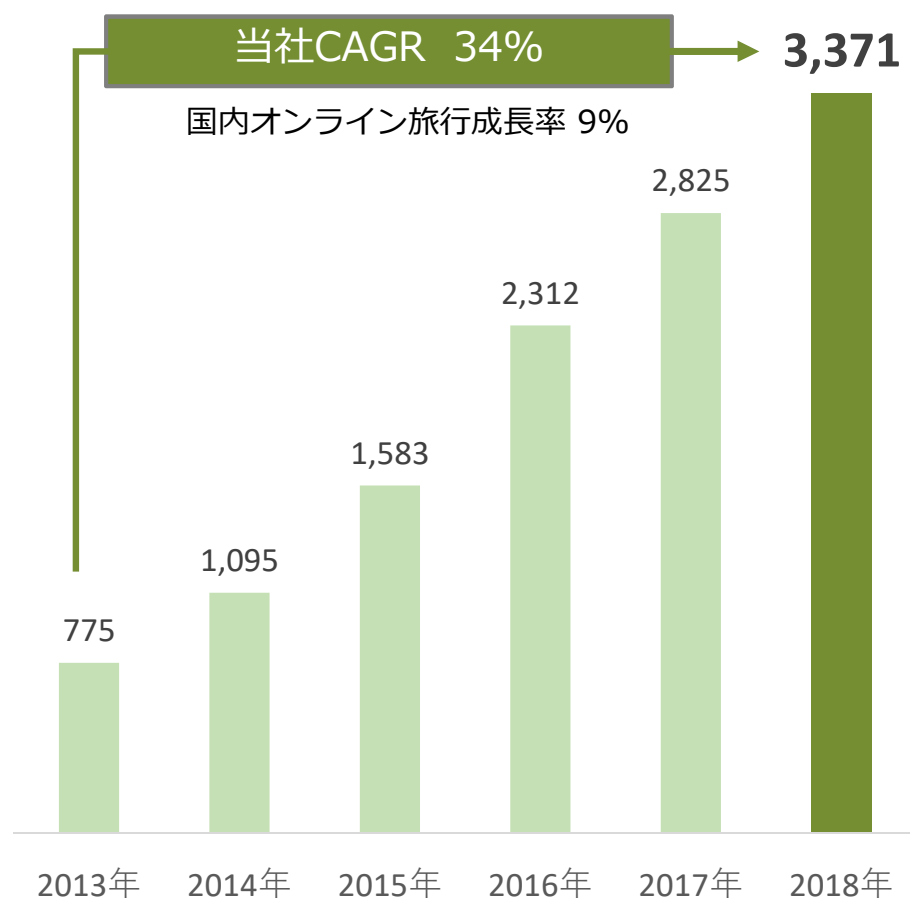


## 営業収益は堅調に増収傾向、利益は収益化フェーズへ

(単位:百万円)

### 営業収益

### 経常利益



※2016年より連結決算数値となっております。

# P/Lサマリー（連結）

VELTRA

- 旅ナカ商品の堅調な需要増により、営業収益は順調に増加
- 17/12期は事業投資に注力したため、18/12期は利益面で大幅に改善、経常利益率は9.5%
- フランス及び上海の子会社閉鎖等により特別損失発生(▲74百万円)も、繰延税金資産計上による法人税の減少もあり、当期純利益は前期比+789.1%

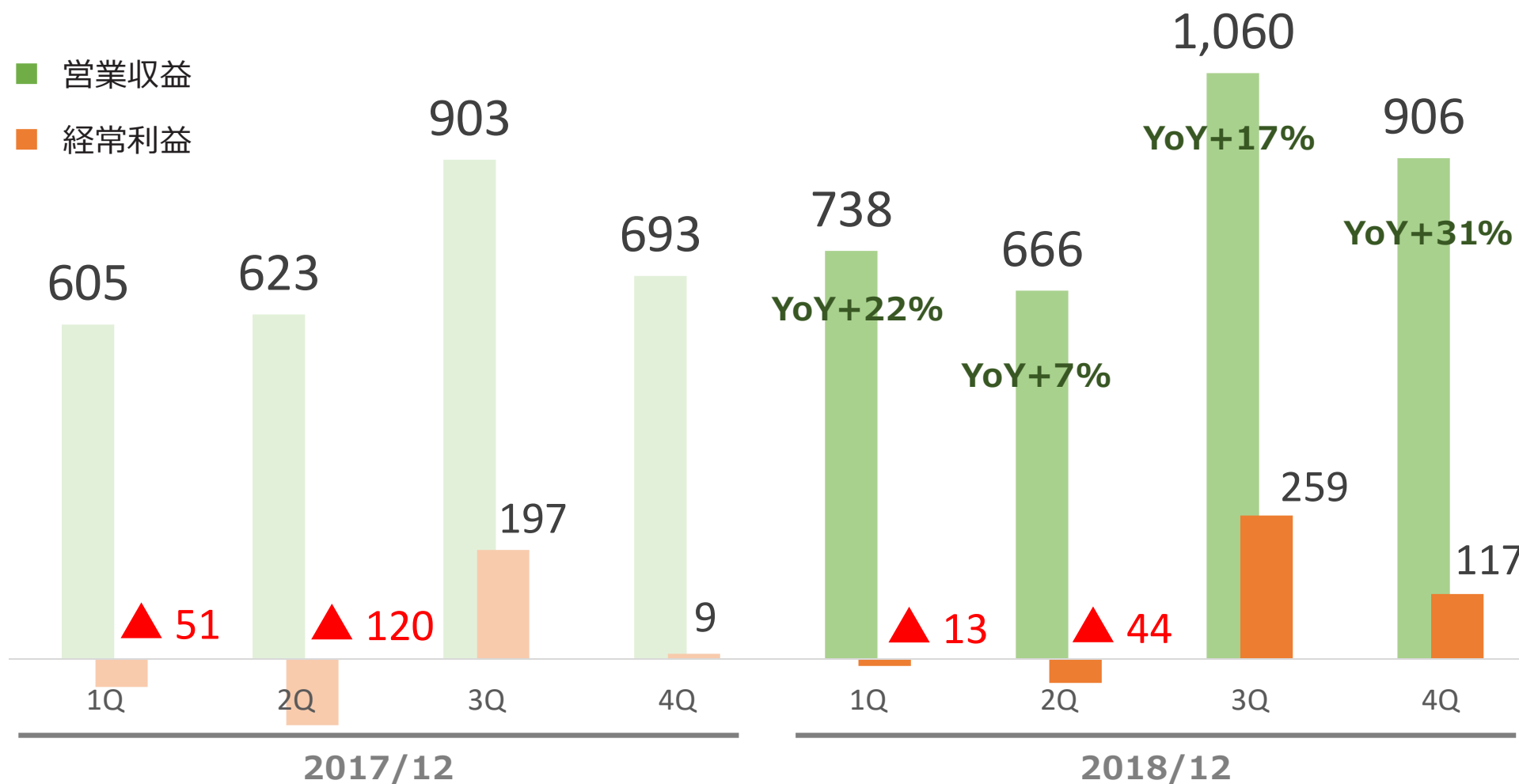
	2017年12月期	2018年12月期	増減率
(単位：百万円)			
営業収益	2,825	3,371	+19.3%
営業費用	2,736	2,954	
営業利益	89	417	+365.7%
営業利益率	3.2%	12.4%	
営業外収益	5	3	
営業外費用	59	101	
経常利益	35	319	+795.1%
経常利益率	1.3%	9.5%	
親会社株主に帰属する当期純利益	35	311	+789.1%
1株当たり当期純利益（円）	1.46	11.68	

# 営業収益・経常利益 四半期推移（会計期間）

VELTRA

- 当社グループの営業収益及び利益について、旅行シーズンの7月から9月に増加する傾向
- 2018年は5月のハワイ島の火山噴火、日本での台風及び9月の関空閉鎖の影響を受けるものの下半期において収益は大幅に改善

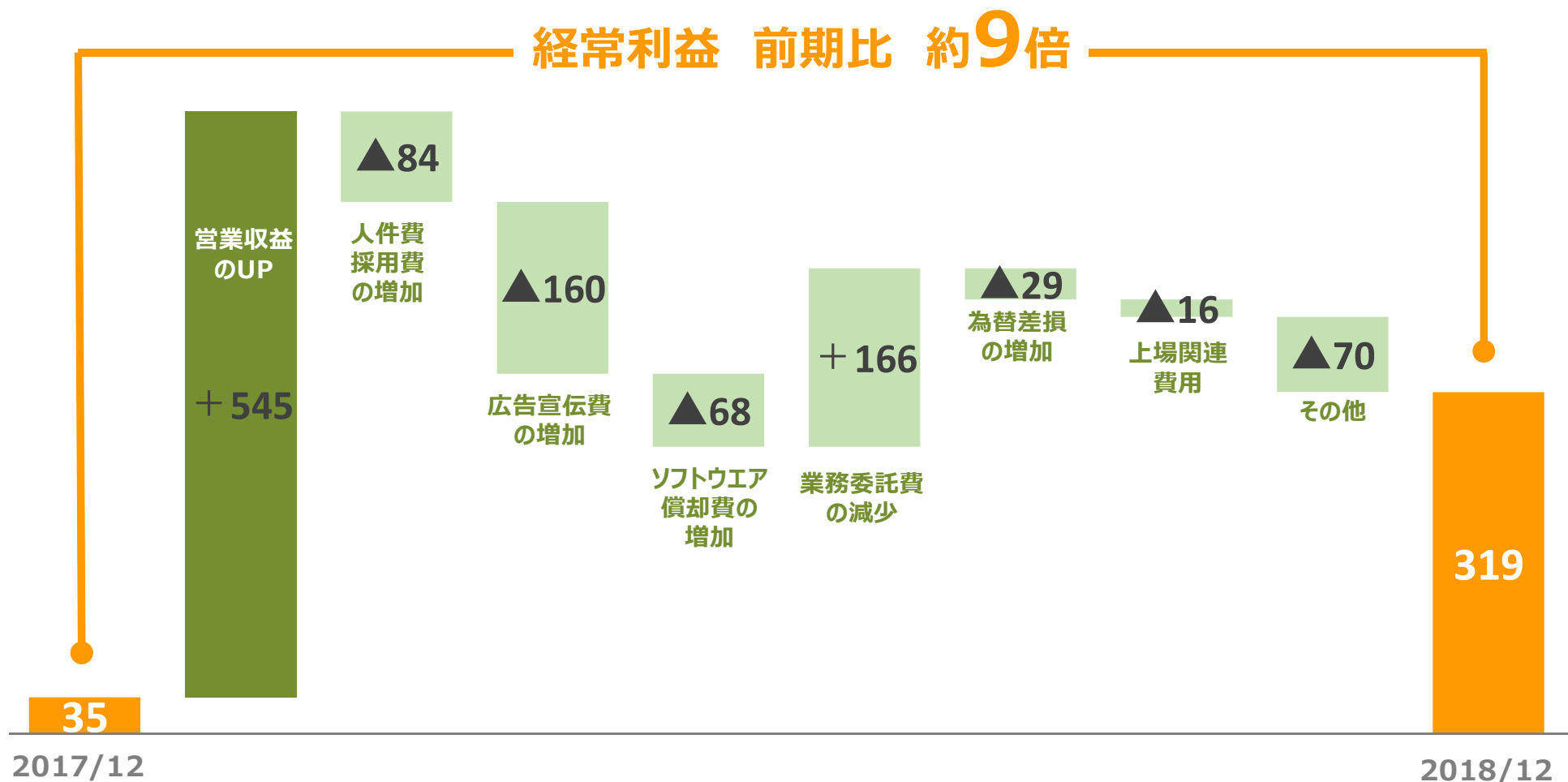
(単位：百万円)



# 経常利益増減分析

- 営業収益の大幅な増加により経常利益は前期比約9倍
- 新規顧客や新商品開拓、システム開発を強化すべく人員を増加（15名増）
- 当社Webサイトへの集客強化やサービス利用拡大のための広告活動を強化
- 海外子会社管理の効率化による業務委託費の大幅な減少

(単位：百万円)

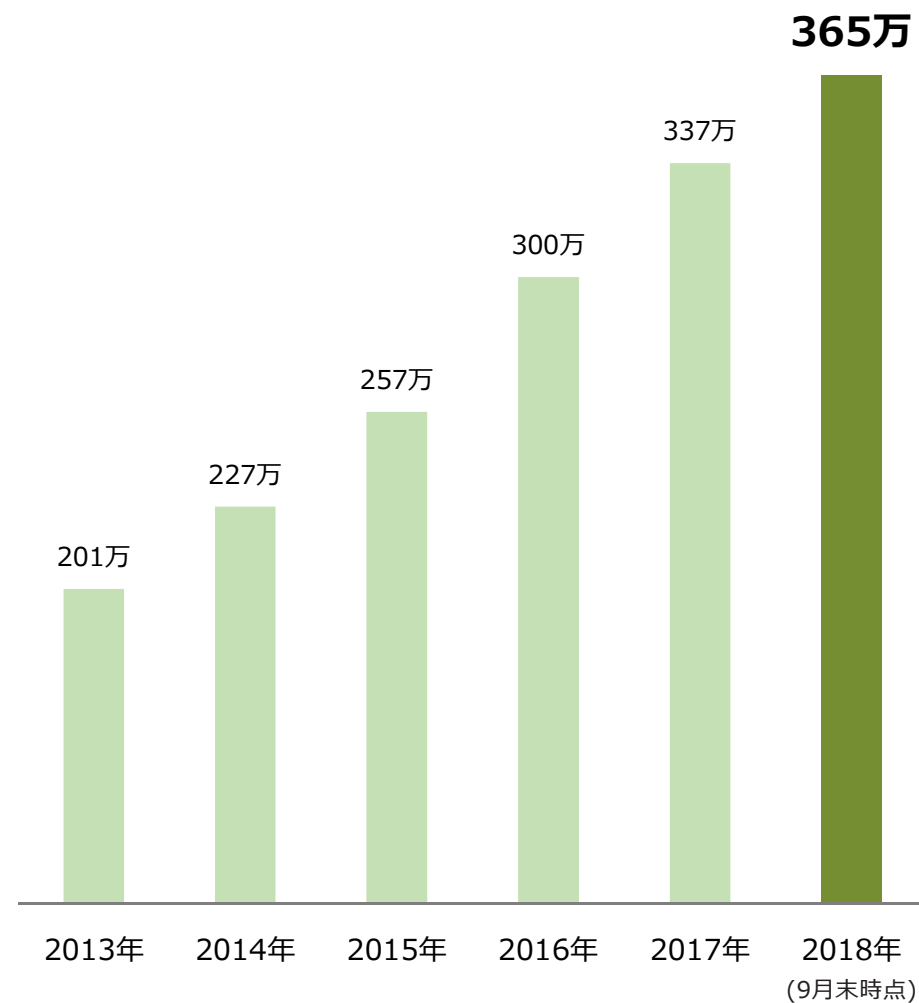
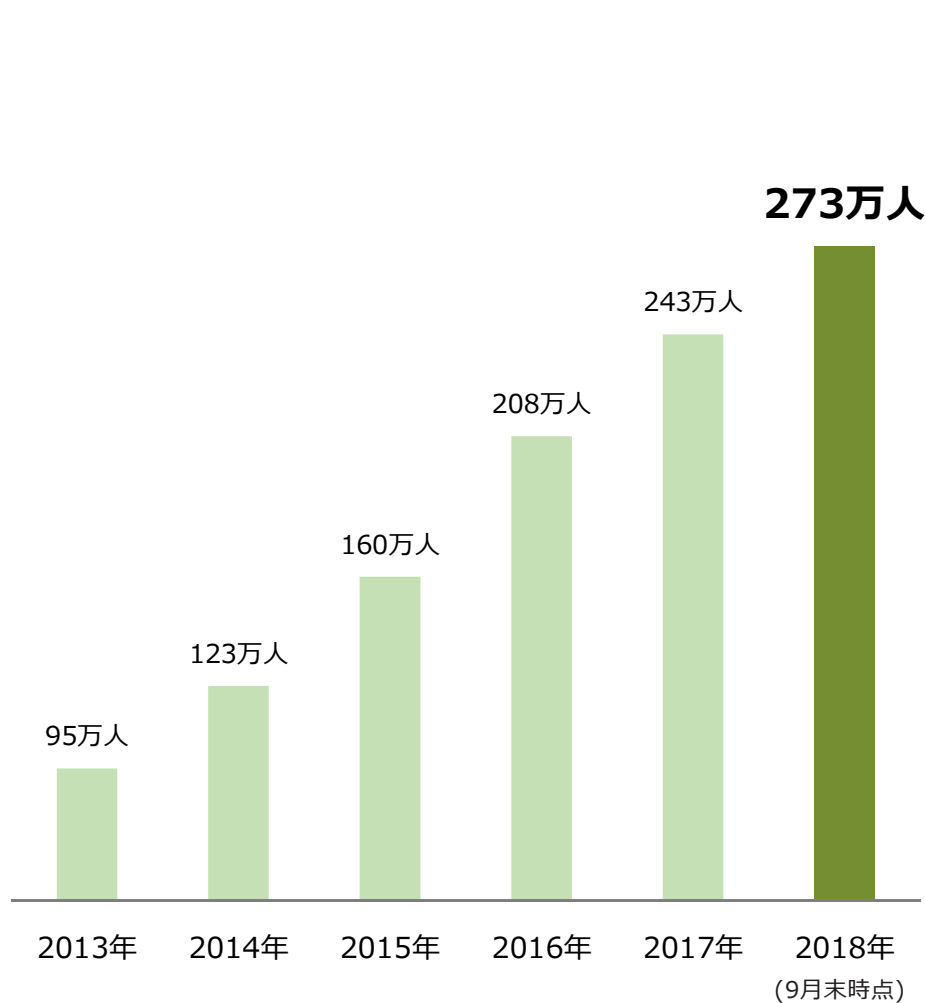




## 会員数、月間Visit数ともに増加傾向

会員数 (累計)

月間Visit数



- 事業規模拡大及び利益水準の向上により営業CFは大幅増
- 投資CFは、主に継続投資を行っているソフトウェア投資
- 財務CFは、株式の発行による513百万円の増加、長期借入金返済による▲197百万円減少

	2017年12月期	2018年12月期	増減額
(単位：百万円)			
営業活動によるキャッシュ・フロー	311	852	541
投資活動によるキャッシュ・フロー	△380	△257	123
財務活動によるキャッシュ・フロー	32	315	283
現金および現金同等物の期末残高	2,277	3,170	893

# B/Sサマリー（連結）

VELTRA

- 事業規模拡大による売上債権、仕入債務の増加により、流動資産、流動負債は増加傾向
- 純資産は利益剰余金の上積みと上場による資金調達により増加 自己資本比率は27%に改善

	2017年12月期	2018年12月期	増減額
(単位：百万円)			
流動資産	3,221	4,379	1,157
固定資産	451	732	280
資産合計	3,672	5,111	1,438
流動負債	2,588	3,389	800
固定負債	545	347	△198
負債合計	3,134	3,737	602
純資産合計	538	1,374	835
自己資本比率	14.7%	26.9%	-





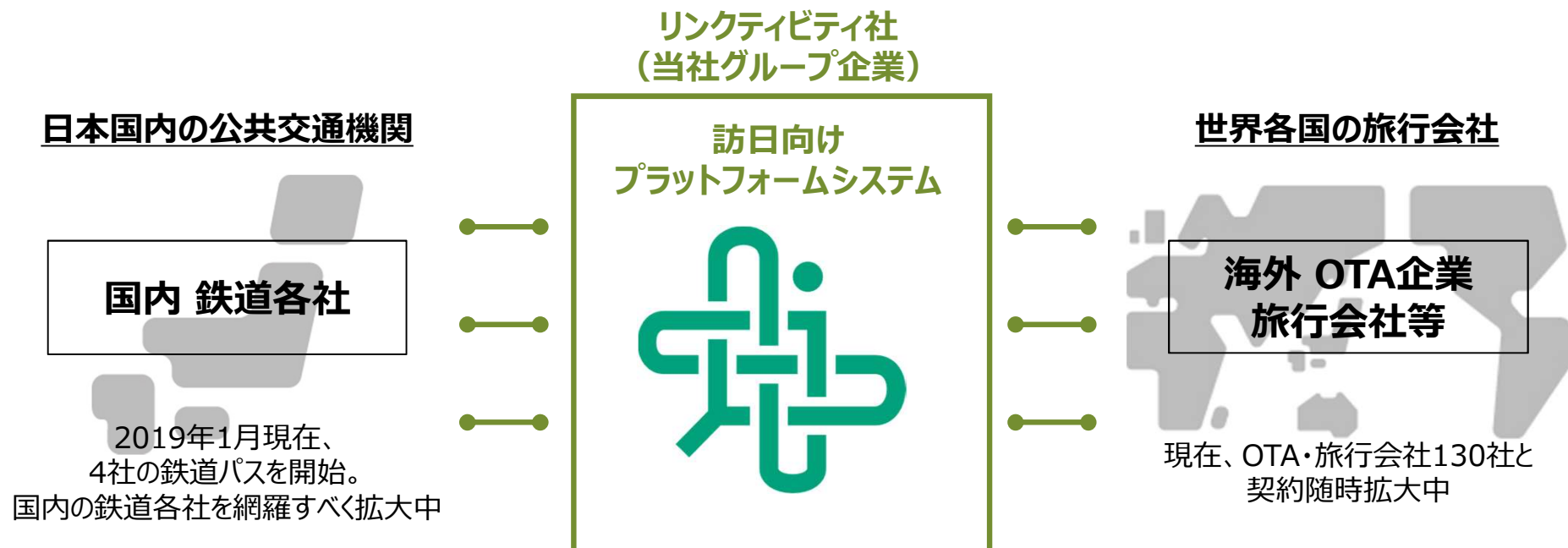
～訪日外国人の国内旅行 & 移動をサポート～

## 訪日向けプラットフォームシステムを構築

課題

- 訪日向けの鉄道・送迎等の移動手段はオフラインが主流
- 特に地方は移動手段が乏しく、地方の観光産業を活性化させるためにも必須

シンガポール拠点のリンクティビティ社において、日本国内の鉄道・送迎などの公共移動手段の予約プラットフォームシステムを構築し、世界各国の旅行会社向けにB2B向けオンライン販売システムを構築



Colonier. 旅をもっと楽しく。

Colorier と共に。

(コロリエ)

その場所を訪れたら是非寄りたいレストランやお店があるように  
 その場所を訪れたら是非会いたい、あの人のツアーにまた参加したい  
 そんな思いを抱かせてくれる素敵なツアーガイドやインストラクターが世界にはいます。

想像を超えた景色を見せてくれる、味わったことのない感動を体験させてくれる  
 彼らとの出会いは、私たちの個人旅行をより一層、時には何倍も何十倍も  
 思い出深いものにしてくれます。

ベルトラはそんな彼らをリスペクトを込めてコロリエ（彩る人）と呼び、  
 世界中の旅を彩るコロリエと、あなたがつながる世界を創造します。

どこで・誰と・何する？

ひとり旅も独りではないはず。旅先での様々な出会いをここから。

\* Colonierはフランス語で「色を塗る」という意味の言葉です。



## 人の繋がりと交流を促進する“コロリエ”

### Colorier（コロリエ）

当ベルトラでの多くの体験談は旅先で出会った  
 ツアーガイドを通じた体験に対する感謝のメッ  
 セージであり、旅行者への共感につながってい  
 ます

コロリエはベルトラで活躍するツアーガイド一人  
 一人の活動に光を当てる事で旅行者の選択  
 肢を広げ、旅先での最高の体験と国際交流を  
 促進させ、観光産業のよりよい未来に貢献し  
 ていくことを目的としています



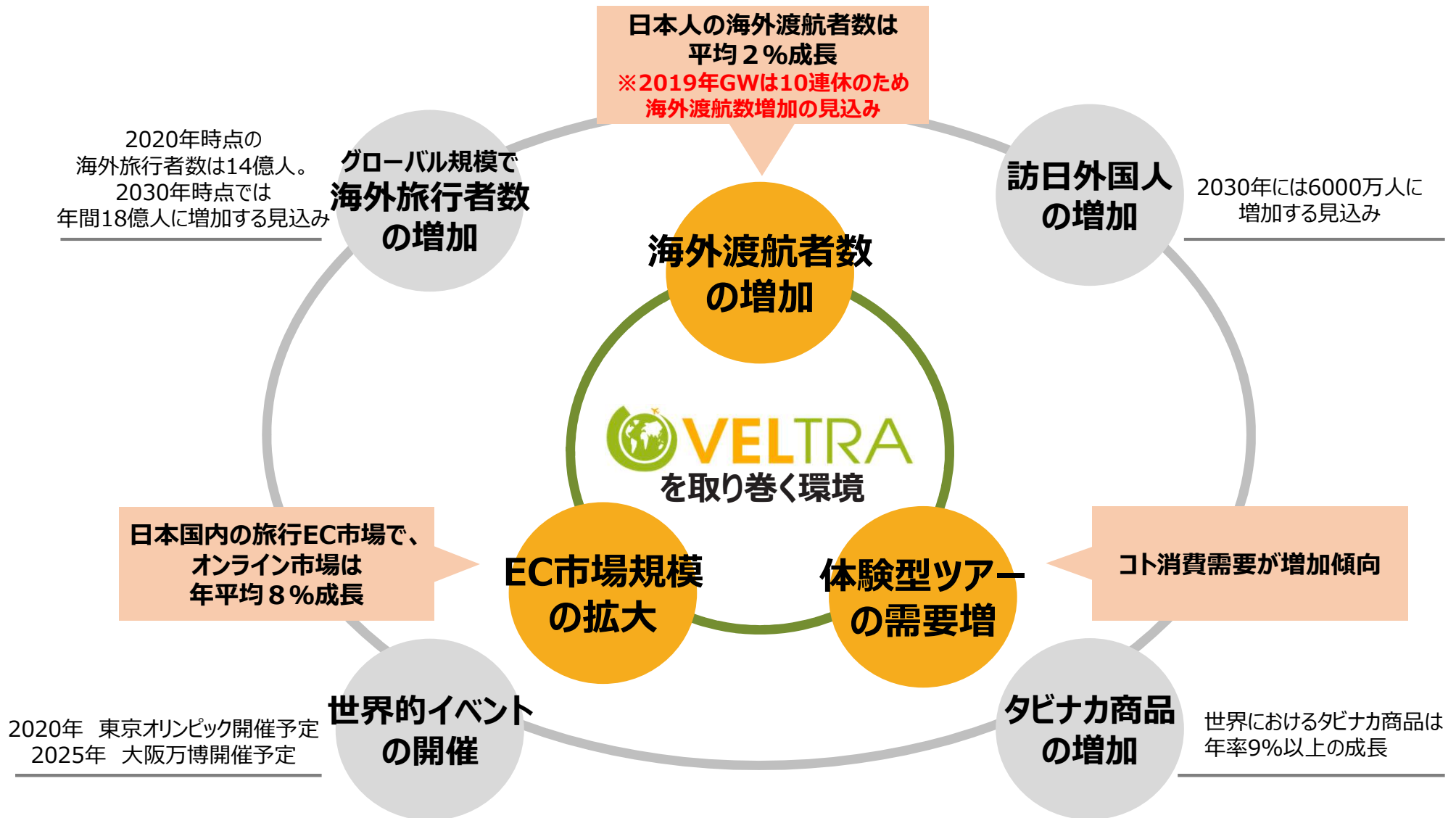


VELTRA

### 3. 2019年12月期 業績見通し



## 国内、グローバル規模で旅行業界にとって追い風の状況



# P/Lサマリー（連結）

VELTRA

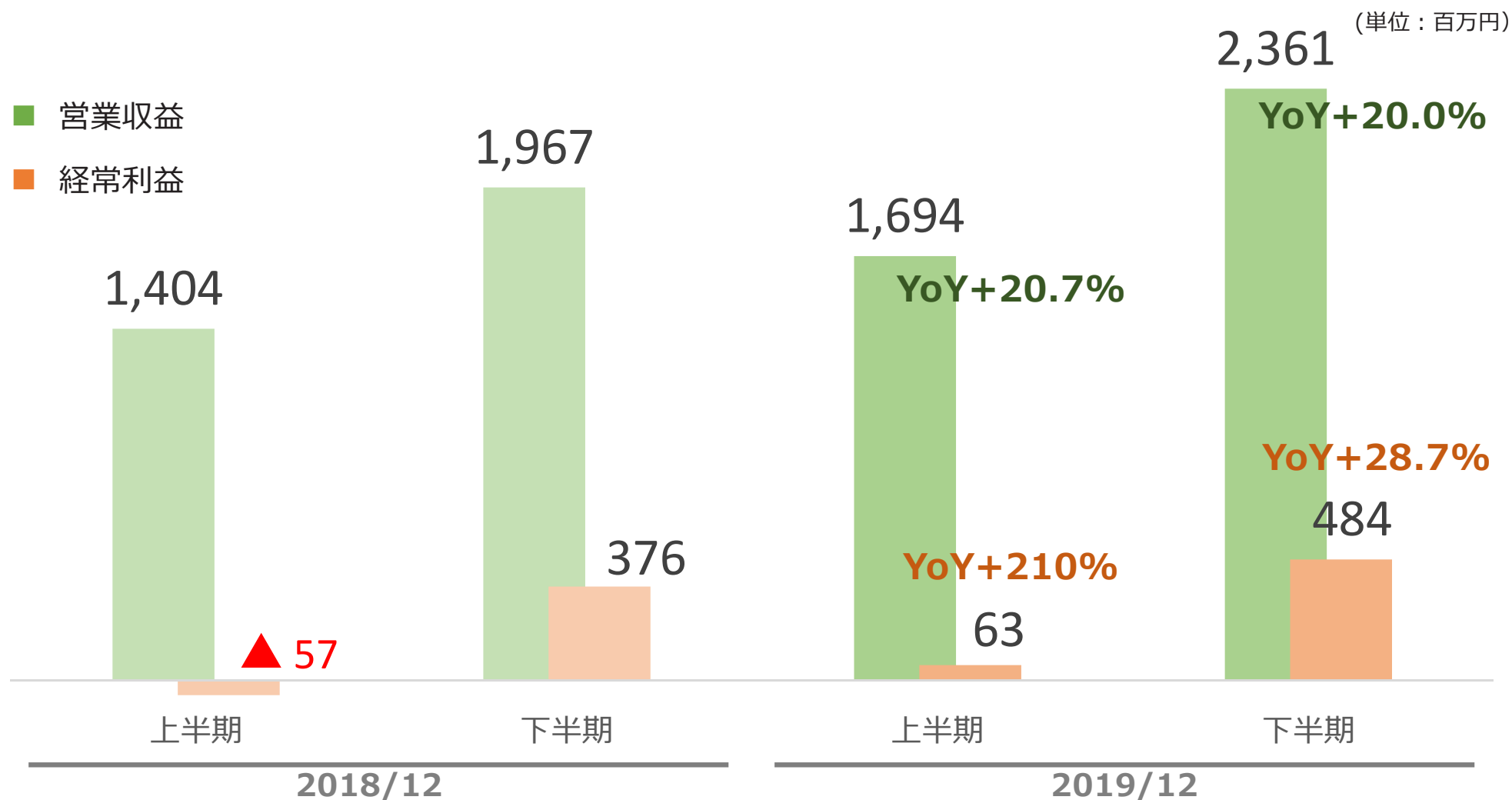
- 旅ナカの商品需要は引き続き順調に増加傾向。  
主力の海外旅行部門において堅調な事業拡大を見込み営業収益は前期比+20%
- 広告宣伝費、人件費は一定の水準をキープしつつ、  
営業収益の増加により、経常利益率は前期比4ptアップの13.5%を見込む

	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (予想)	対前期増減率 (%)
(単位：百万円)			
営業収益	3,371	4,055	+20.3%
営業利益	417	600	+43.9%
営業利益率	12.4%	14.8%	
経常利益	319	547	+71.5%
経常利益率	9.5%	13.5%	
親会社株主に帰属する当期純利益	311	356	+14.5%
1株当たり当期純利益 (円)	11.68	12.49	

# FY2018-19 営業収益・経常利益 半期比較

VELTRA

- 旅行シーズンに収益が集中するシーズンリティは変わらずあるものの、上半期でも経常黒字を見込めるまで利益水準は向上

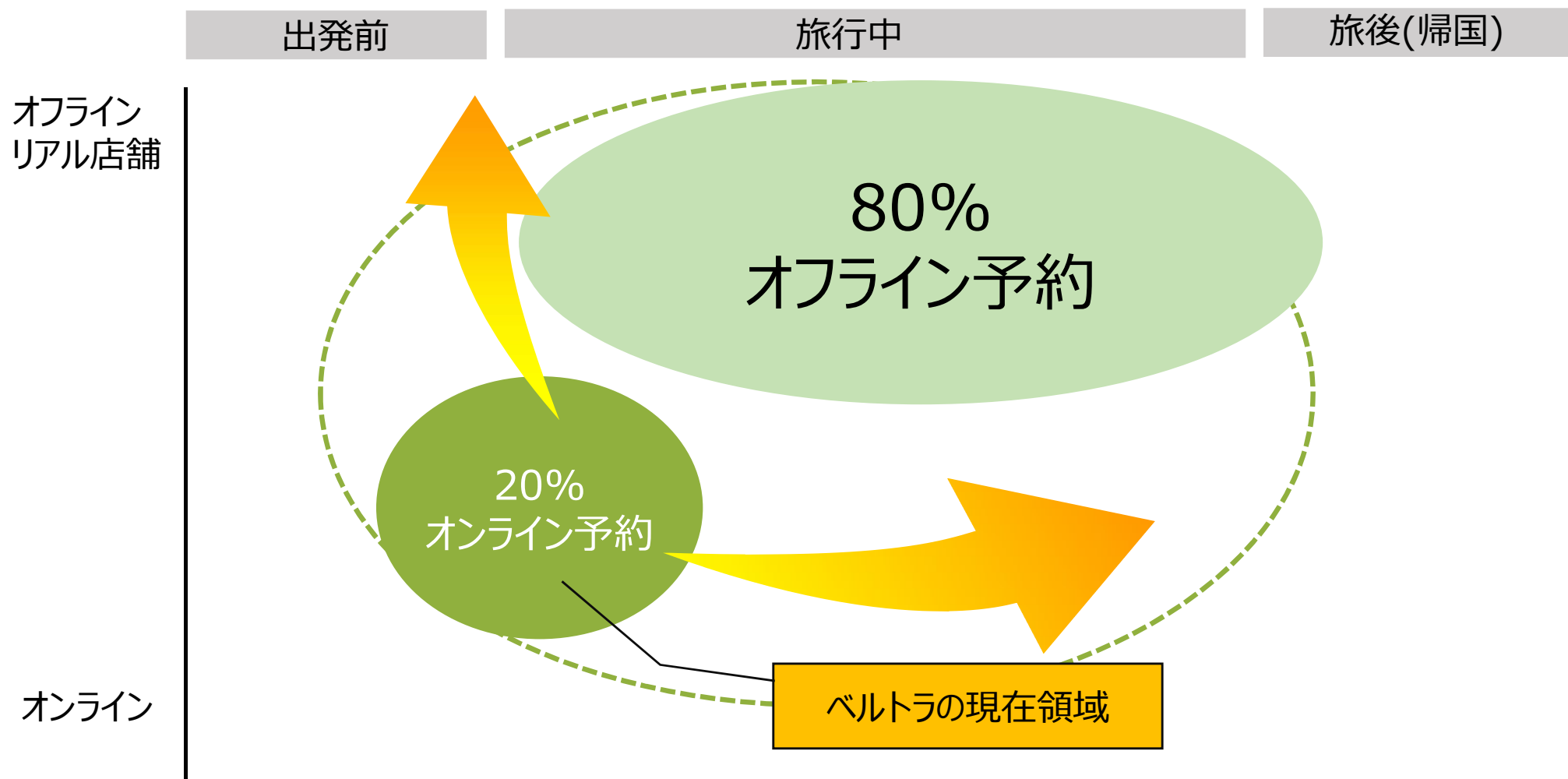




# オフライン市場へのサービスを拡大

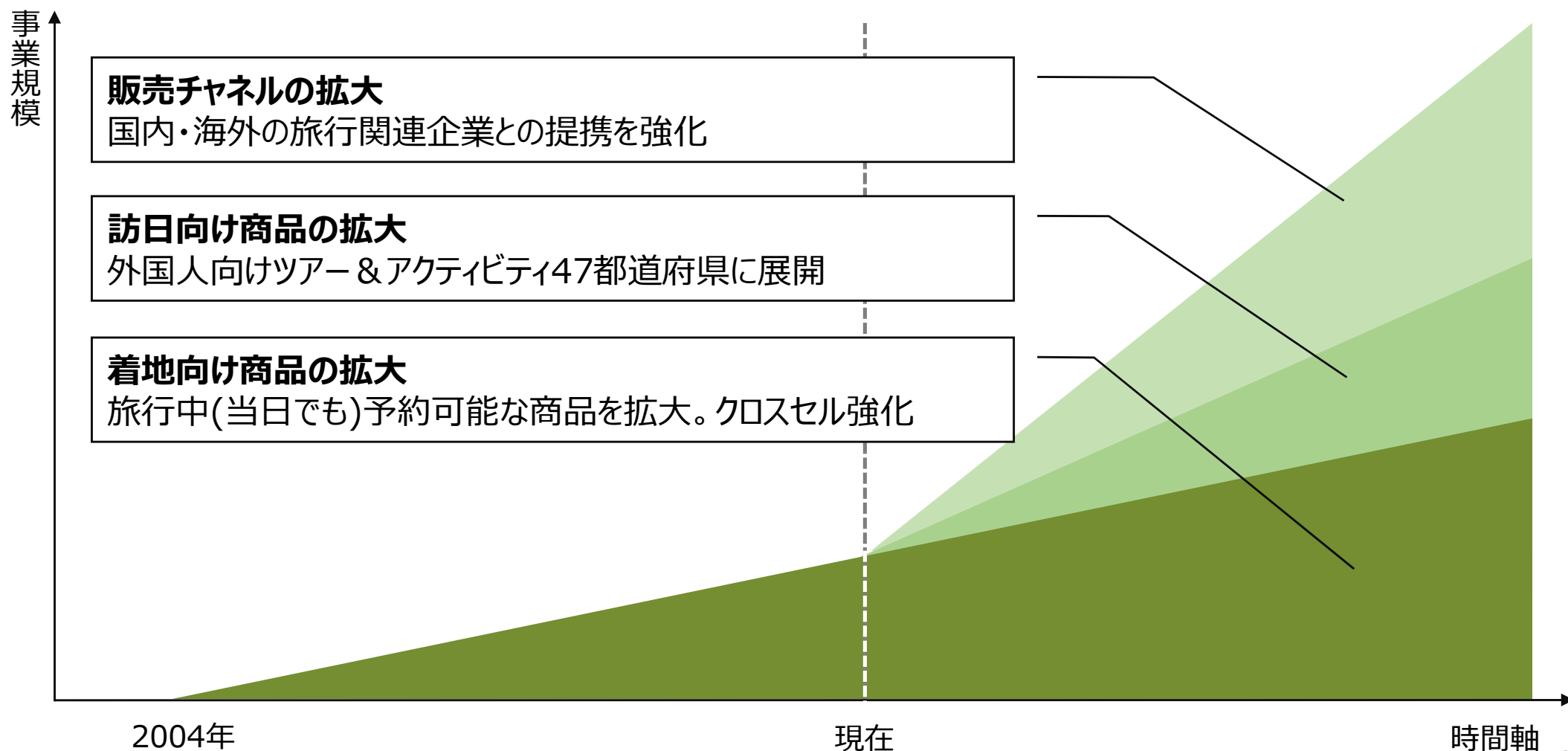
VELTRA

現地体験ツアー市場はオフライン比率が80%





企業連携・着地型商品の強化によりオフライン市場をオンライン化





**社名** ベルトラ株式会社

**本社** 東京都中央区八重洲1丁目6-6

**資本金** 5億2369万円 (2019年1月31日現在)

**創業年** 1991年11月 (VELTRA.com事業開始 2004年)

**決算期** 12月

**従業員数** 本社 142名 (連結 239名)

**子会社**

[シンガポール]	LINKTIVITY PTE.LTD.
[マレーシア]	VELTRA Malaysia Sdn. Bhd.
[フィリピン]	VELTRA PHILIPPINES,INC
[米国(ハワイ州)]	VELTRA Inc.
[フランス]	VELTRA SAS

**営業所** ロンドン、バンコク

<b>役員</b>	代表取締役社長 / CEO	二木 渉
	取締役 兼 海外部門管掌	萬年 良子
	取締役 兼 訪日部門管掌	倉上 智晴
	取締役 兼 管理部門管掌	皆嶋 純平
	取締役 兼 グローバル部門 分掌	イスラット エマニュエル
	社外取締役	白石 徹
	社外取締役	鈴木 学
	監査役	池田 哲司
	非常勤監査役	齊藤 精良
	非常勤監査役	野田 泰司



働きがいのある会社ランキング  
2年連続ベストカンパニーとして選出



本資料に掲載されている情報には、業績予測・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

今後発生する新たな事象及び状況の変動があった場合にも、当社は、本資料の記述を更新又は改定する予定はありません。

本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報については、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何ら検証を行っておらず、またこれを保証するものではありません。



本発表に関するお問い合わせ

ベルトラ株式会社 担当：皆嶋・座間味

TEL: 03-6262-5481 Mail: [ir@veltra.com](mailto:ir@veltra.com)



VELTRA



CHANGES

TRAVEL